※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の４つの活動を柱に学習を進めます。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価をします。また実技の評価は、自己の音楽経験で大きく左右されないように形成的評価をします。つまり、今の自分から努力して上達した部分を評価とします。
・音楽の授業を通して表現力を伸ばし、豊かな感性を深め、音楽が生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

知識・技能
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
主体的に学習に取り組む態度
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。【知識】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	詩のメッセージを大切に歌おう	【歌唱】 「校歌」 「翼をください」 「ふるさと」 「ひまわりの約束」	a：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に着けている。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	ボディー・パーカッションを楽しもう	【器楽】 【創作】 「Plymouth Rock」	a：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能を身に着けている。音楽を構成する要素について理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現及び創作表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に器楽及び創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 発表 小テスト	観察 演奏の聴取 発表	観察 ワークシート 発表
	ギターの奏法を身に付けよう	【器楽】 「大きな古時計」 「ちょうちょ」 「木星」 「埴生の宿」 「帰省」 「エーデルワイス」	a：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着けている。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	旋律の特徴と曲の変化を聴き取ろう	【鑑賞】 「ボレロ」	a：音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b： 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	【器楽】箏 「初段」〈箏曲《六段の調》から〉	a：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着けている。我が国の伝統芸能の特徴について理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	ドイツ語の語感を生かして歌おう	【歌唱】 「野ばら」	a：言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 b：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c：主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	世界のさまざまな音楽の魅力を味わおう	【鑑賞】 アジアの様々な音楽	a: アジアの諸民族の音楽の特徴について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	他者との調和を意識して歌おう	【歌唱】 「故郷」	a: 創意工夫を生かした歌唱表現をするために他者との調和を意識して演奏する技能を身に着けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	さまざまな主題とその構成を聴き取ろう	【鑑賞】 「交響曲第9番」	a: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度